

会議録（要点記録）

第2回堺市美原区政策会議	
開催日時	令和6年2月8日（木）午後7時00分～8時40分
開催場所	美原区役所本館5階 大会議室
出席構成員	堀内座長、東構成員、阿部構成員、安野構成員、上野構成員、浦構成員、米谷構成員、高岡（照）構成員、高岡（裕）構成員、高岡（里）構成員、田中構成員、釣井構成員、鳥井構成員、中田構成員、西村構成員、伯井構成員、松本構成員、山本構成員、湯井構成員
事務局職員	山田区長、松木副区長、北口課長、池川参事役、荻野課長補佐、山本副主査、奥田
関係課職員	美原保健福祉総合センター：富田所長 美原区役所自治推進課：田中課長 美原保健福祉総合センター地域福祉課：神谷課長
案件	1 美原区内における各種活動の活性化について 2 その他
傍聴者	4人
配付資料	次第 資料1 アンケート集計 資料2 自治会に関するアンケート集計結果

開会

《事務局が会議の開催を告げ、公開を確認、欠席構成員の報告を行う》

○司会 構成員の皆様には前回の会議で「各団体等の活動及びつながりについて」お話しいただき、その中で皆さんが参加いただけるようなイベント等がありましたら事務局へお知らせいただくようお願いしましたところ、松本構成員と堀内座長から御連絡があり、皆さんにお送りさせていただきました。

松本構成員からは、大阪府立農芸高等学校で開催された「みっかつ」MIHARA活性化プロジェクト活動最終発表会で、構成員4名、農業塾4名及び事務局2名の10名の方が参加いたしました。

また堀内座長からは、大阪公立大学文化交流センターで行われた「第18回地域創造のための観光マネジメント講座」の情報をいただきました。

松本構成員と堀内座長より一言お願いしたいと思います。まず、松本構成員からお願いいたします。

会議録（要点記録）

○松本構成員　改めまして、松本です。よろしくお願いします。

今回、「みっかつ」の最終発表会ということで、まず農芸高校と連携させていただきましてありがとうございます。そして、区長をはじめ様々な構成員の方に最終発表に御出席いただきまして、本当にありがとうございました。

この活動は3年目になり、古代米プロジェクトを含めて、様々な方と御一緒することによって実現できたプロジェクトになっております。若い生徒たちが学んでいく姿を地域の方々に見ていただいて、また育った子たちが新たに活躍していくという人材育成の流れができていくプロジェクトになってきていると思っており、引き続き活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。以上です。

○司会　ありがとうございました。

続きまして、堀内座長、お願いします。

○堀内座長　堀内です。今年の1月に行われた社会人向けの観光マネジメント講座がありまして、自分たちが暮らしている地域にどんな観光資源があるかを発見して、どういうふうに啓発したらいいかを、私を含めいろいろな大学の先生が実例を踏まえて紹介する講座でした。この場に受講者リストが手元にないので、この中で参加いただいた方がいらっしゃるかわからないのですが、毎年1月にやりますので、来年以降、再来年以降に参加いただければと思います。よろしくお願いします。

○司会　ありがとうございました。

では、本日の会議の進め方を北口課長より説明させていただきます。

○北口課長　企画総務課の北口です。よろしくお願いいたします。

本日の会議では、少人数での意見交換も行っただけで、どうかとの御意見を複数いただいておりますので、「美原区内における各種活動の活性化について」という議題で3つのグループで話し合ってもらい、話し合いの概要を各グループから発表していただきたいと思っております。このとき、各グループで何か1つの答えにまとめなければならないというわけではございません。

全体の進行のお手伝いは私がさせていただきます。グループ分けにつきましては、五十音順を基本に配席しています。なお、ファシリテーターには、グループワークを提案していただいた方を中心に事務局からあらかじめお願いさせていただきました。高岡里恵構成員、伯井構成員、松本構成員です。ファシリテーター及び発表をよろしくお願いいたします。

まず、グループワークで意見交換していただきます。時間はまとめ作業も入れて45分

会議録（要点記録）

程度を予定しております。その後、座長に進行をお願いし、グループごとに5分程度で概要を発表いただき、最後に、時間の許す範囲で全員に意見交換していただきます。

それでは、案件1「美原区における各種活動の活性化について」意見交換をお願いいたします。なお、御発言いただく際は、付箋に何か一言分かるような内容を書いていただき、模造紙に貼っていくという形で御意見ををお願いいたします。最後に、それを見ながら皆さんで模造紙の上で意見を整理、集約していただきます。ファシリテーターの皆さん、よろしくお願いいたします。

なお、第1回の会議で自己紹介を兼ねて全構成員から一言いただきましたので、自己紹介の代わりに皆さんのお手元に名簿を置かせていただいております。

各グループの進め方につきましては、基本はファシリテーターにお任せしたいと思いますが、まずは皆さんの緊張をほぐすために、最初の御発言いただくときに自己紹介の代わりに、美原区の良いところや好きなどころなど、お名前と一緒に発言いただいてから御意見をいただく形式とさせていただきます。それではファシリテーターの皆さん、よろしくお願いいたします。

<グループ討議>

○北口課長　皆さん、そろそろお時間となっております。よろしいでしょうか。

それでは、ここからは堺市美原区政策会議開催要綱7の2の規定に基づきまして、堀内座長に進行をお願いしたいと思います。

では、堀内座長、議事進行をお願いいたします。

○堀内座長　皆様、お疲れ様でした。私、ふだん大学で学生にこういうグループワークをさせていますが、今回は自分が学生になった気分になり、非常に楽しかったです。それが一番大事だと思います。意見がどうかというよりも、皆さんが楽しく意見を言えることが一番大きな目的ではないかと思います。

それでは、進行させていただきます。皆様には、円滑な議事進行に御協力をお願いします。

まず、全グループから発表いただきまして、その後、御意見等を伺いたしたいと思います。それでは、松本構成員のグループから御発表をお願いいたします。

○松本構成員　では、私のほうからグループで話した内容を共有させていただきます。補足があれば言っていただければと思います。まず一番初めに美原区の良いところや好きなどころを結構長く議論し、すごく盛り上がって、ざっくばらんに話ができたとと思います。まず良いところが、やはり美原区の人とのつながりの部分が1つ。あとは自然や歴史が充実して

会議録（要点記録）

いるというのが大体大きく分けて2つ出てきたと思っています。

その中でも、人とのつながりの部分で顔の見える関係が築かれているからこそ子育てがしやすい、悪いことをしたら怒ってくれる地域との関係がある、そういったプラスの良いところというのが出てきました。その反面の課題の部分ですが、米谷構成員のほうから、美原区の良いところのつながりが今崩れつつあると意見がありました。そこは自治会や、子ども会などの加入率の減少という課題もある中で、今後美原区として必要なことは、こんなまちにしたいという、わくわくするような1つの方向性、目標を設定するほうが良いのではないかと、みんなが主体的に考えられる、関わられるようなビジョンが必要ではないかという話が出てきました。ビジョンを立てる上でも、いろいろな資源があるが、それをうまく組み合わせながらビジョンを立てたり、いろいろな活動をやられている方が一緒に関わったりすることが必要ではないかという話になりました。

ビジョン立案は重要だと思いますが、まちをよくしていくための具体的なアイデアとして、まちの将来やビジョンを、大人もですが、大人がこれ課題だからこれやらなあかんというよりも、小学校、中学校、高校、大学生の若者と一緒にまちの未来を考えていくような機会を創出できたらいいのではないかとアイデアが出たり、例えば、ららぽーとなどの外部の資源も活用しながら、小中学生が自分たちで考えたイベントをやってみたいという企画をやったり、美原の各地域で開催している盆踊りを舟渡池公園で一括でやってみたり、住民が行動しやすいイベントも重要ではないかという話が出ていました。

あとは、住み続けてもらうためにはわくわくすることが大切で、いろいろなアイデアが出ていました。例えば交通をよくしていくために自動運転のバスを走らせるなど、新しい技術を活用することや、わくわくするようなものを外部から誘致することも安野構成員から出ておりました。

やはりみんながわくわくしながら、1個の目標に関わっていけることが大切ではないかというお話が出ました。以上です。

○堀内座長 ありがとうございました。

では、続きまして伯井構成員のグループお願いいたします。

○伯井構成員 発表させていただきます。まず、美原の良さというところを話している中で、美原は小さくて把握できる範囲で見渡しやすい。校区単位ではなく地区単位、小さい単位で活動している。田んぼや自然がある、お祭りが活発であるという話がありました。

ただ、その中の現状として、自治会に入るのが当たり前ではなくなっている。では、どうすれば自治会に加入してもらえるのか。行政や大型施設と連携した情報発信、予算をつけるのも大事ですが、防犯の面であるなど、自治会の良さを分かってもらい、楽しければ参

会議録（要点記録）

加してくれるということです。

楽しければ参加してくれるということは、やはり、祭りやイベントではないか。区民まつりという大きい話もあれば、バレー教室で人を集めたり、あかねこ餅や古代米をつくったり、だんじりなど、皆さんからいろいろなお話が出ました。あるいは、区民まつりでバスを展示いただきましたが、アンケートにもあった一番のキーポイントは、祭り、イベントで、皆さんに参加してもらう中で、入り口はやはり子ども会ではないかという話です。どうしても子供が中学生になると親も参加しにくくなったりするので、1人ではなくて家族単位で集まれるようなイベントを行えば参加しやすいのではないかという話もありました。その前提となる子ども会の活動で、一番の課題が役員のなり手、役員の負担軽減ではないかという話です。

それに対する解決策というほどではないですが、プランとして、自治会で行事をするときに、福祉委員会と一緒にやったり、子ども会と老人会と一緒にDVDの上映会を開催し、子どもとお年寄りの方が一緒に見たり、美原には会社がたくさんあるので、全部個人の住民でやらなくても、会社に店を出してもらうなど、形を変えて、少し工夫してやることで負担の軽減が図れるのではないかという案がありました。

ただ、いろいろ話した中で、最後はやはりリーダーが引っ張ることが大事という話になり、ここにいらっしゃる皆さんはリーダーと思いますが、しんどくても周りの人からは楽しく見えるように見せることも大事ではないかという意見でまとまりました。以上です。

○堀内座長 ありがとうございました。

最後、高岡構成員お願いいたします。

○高岡里恵構成員 発表させていただきます。美原の魅力ですが、このグループは、親しみやすい、子供が人懐っこいなど、ほかの地域から来られても受入れがすごく温かいことや、フルタさんの甘いお菓子の匂いがとても印象強く、美原に住んでいたらその匂いを嗅いだことがあると思います。防災センターがあることも災害に強いまち、自然とまちが調和し、都会にも行きやすく、その中で自然もしっかり残っていることが魅力かなと思います。

課題ですが、SNSが行き渡ってないことや広報が魅力的ではないこと、見たくなるような広報、わくわくするような広報を私たちは望んでいます。自治会に入られる方が少ないのは、自治会の活動内容が分かりにくいのではないか、自治会費が地域において異なっており、それが負担になっている地区もあるのではないかという意見が出ました。

解決するための手段ですが、防災センターや古代米、美原には神社、寺院、古墳、いろいろ魅力的なところがあって、それをスタンプラリーにする意見がありました。若い方は広報などなかなか見ずに、インスタグラム、SNSがやはり入ってきやすいということで、そ

会議録（要点記録）

ちらを私たちが知っていく。例えば、やかみっこキッチンさんは公式LINEを活用されている。シニア世代も講座を開くなど、解決するための手段にしていけたらと思います。

最終のゴールですが、私たちもなかなかですが、インスタグラムを区役所の方が使いこなせるようになっていただく。各種活動の活性化と、どの世代も参加できる、みんなが参加するという機会を持てること、美原は鋳物師であったり、廣國神社も国宝の物があったり、それを美原の方が知らないことが多くて、美原の歴史を自分たち市民が知ることがすごく大事であるということをゴールに持っていけたらという意見が出ました。

今日は美原高校の先生もいらっしゃいますが、美原高校に通っていた美原の方ってすごく多いと思います。美原高校の閉校になることがすごく寂しいです。そこを機会に若い人を動かすイベントなどをしていただけたら、思い出になるのではということをお願いさせていただきました。

○堀内座長 ありがとうございました。

ただいま3つのグループに分かれて、話し合った内容について概要を発表していただきました。時間の許す限り、構成員の皆様方、自分のグループのことでもいいですし、他のグループのことでも結構です。御意見や質問があれば自由に発言をお願いします。

○松本構成員 先ほど高岡（里）構成員が美原高校のところをきっかけにいろいろな方が前向きになるお話がありました。私が紹介するのもあれですが、今、高校では探求的な時間があるのですが、その時間を活用して美原をテーマにした授業を組み立てられています。そこで構成員やいろいろな方々も参加いただけるような機会があればいいですね。そういう新たな取組を美原高校でもされていることをお伝えさせていただきました。以上です。

○堀内座長 ほかにありませんか。今の関連でも別のことで結構です。

○安野構成員 区長さんも参加されていますので、皆さんにも意見を聞きたいですが、美原区は選挙の度に投票率が堺市の各区の中で最下位か2番目です。特に今回の市議会議員選挙は無投票でした。この状況は日本各地の過疎の町で起きていることによく似ています。投票率の低さを何とかアップさせることは活性化に繋がるという意味で大事なことを思っています。皆さんで一度、投票率を少しでもアップするような、みんなが行政に参画できるような、アイデアを考えてもらいたい。政治やそういったものを担う人材が育ってこないというのが本当に残念なことと思っている。私も縁あって美原にずっと住んでいます。活性化する意味でもみんなが参加するのはすごく大事なことを思っていますので、次回までにこれをテーマに考えてほしいと発言させていただきました。山田区長さん、今の投票率について何

会議録（要点記録）

か意見ありますか。あれば聞かせてほしい。

○松木副区長　副区長の松木です。この選挙の関係について、実は私、区の選挙管理委員会の事務局長です。区長は選挙の役職は当たっていないため、今の御意見については私のほうから少しお話しさせていただきます。毎月開催している区の選挙管理委員会の中で、今まさに構成員おっしゃったように投票率の低下について、委員の皆さんを含めて、どうすれば投票率を上げられるかという議論を毎回しています。ただ、投票率を喚起するというと、我々が言っても投票する行動につながらなければ何も起こらないので、ムーブメントを起こすにはどうしたらいいかというのは実は大きな課題です。現状それを解決する策は持っていません。ただ、同じように課題だということを共感しているということだけは今お伝えさせていただきます。以上です。

○堀内座長　ほかはどうですか。また別の意見でも結構です。今回の感想など御自由にありましたらどうぞよろしくお願いします。

○高岡里恵構成員　初めてグループワークをさせていただいて、意見もすごく出やすかったですし、個々にいろいろな状況も少し見えたので、とてもよかったと思います。この機会をありがとうございます。

○堀内座長　伯井構成員のグループ、何かありますか。

○鳥井構成員　自治会に入らないことについて、今、自治会の役員をやりながらPRしたり、ポスティングしたり、お手紙を書いたり、いろいろなことをさせてもらっています。その中で、これは区役所の方にお聞きします。例えば美原区に住居を移されて転宅されてきた方に、自治会への加入についてメリットのPRをもっとしてほしい。書類は渡していただいていると思いますが、書類を渡すだけではなく、こういう取り組みを自治会がやっている。だからぜひ各自治会に入っていただきたいという声かけやPRはしてもらえるかどうか心配なところ。住宅の企業の方とは自治会と相談して、契約を結んだら加入届を渡してくださいと言っている。区役所の方々はどうか分からないので、お答えいただけるとうれしい。

○田中課長　自治推進課長の田中です。今質問のありました自治会加入については、市全体の重要な課題として取り組んでいるところで、自治会加入促進に向けて全市を挙げてPRをするためのチームをつくり、2年間ほどかけて成果を上げているところです。ところが上

会議録（要点記録）

がっていないのが現状で、少しずつ減ってきています。何とかそれを食い止めるために、転入された方に冊子を配付したり、先ほど御意見がありましたSNSで発信したりなどの取組は行っていますが、鳥井構成員が知らないという状況ですので、まだ周知されていないということを私も痛感しています。

区民まつりであるとか、防災とか防犯、いろいろな場を通じて、自治会加入に関して、これからもPRしていきたい。やはり安全安心に生活するというのが一番大事です。それに関しては自治会加入、一番取り組んでいる大きな組織が自治会ですので、率先して取り組んでいくように自治推進課としては進めていきたいと思います。

これは市を挙げて、各区ともに共通の課題として進めておりますので、もう少し皆さんの力を借りてやっていきたいと思います。

○鳥井構成員　すみません。冊子配っているのは分かっています。市民課のところで、自治会に入っていたらうれしいというような一言があるかということを知りたかっただけです。

○田中構成員　今、自治会の話が出ましたが、他区と比べてもどうかと思いますが、美原は他の6区よりもかなり加入率は高いです。ただ、若干1%ぐらい落ちてきています。ばらつきはありますが、校区によっては8割近い加入率のところもあります。このグループでも話しましたが、美原と他区と比べて違うところとは、単位自治会が活発に活動していることが加入数に結びついていると思います。もちろん行政も、今言われたように引っ越しされた方にいろいろ説明してもらうことも必要ですし、メリットも出さないといけない。経済的なメリットは出ませんが、能登で地震がありましたように、共助のところが一番大きいと思います。

ただ、この1月7日に収集したアンケートを見てもらうと、1月1日に地震が起こったにもかかわらず、5番目のアンケートで防災・防犯のことがあれば参加したいですというのが少なく、子供向けのお祭りがメインになっています。断トツに多いです。各自治会、女性会、老人クラブ、子ども会、活性化すれば自然と伸びてくるように思っておりますので、ここにおられるリーダーの方、それぞれいろいろな分野で、各地区でぜひ頑張っていただきたいと思っております。以上です。

○堀内座長　私、一委員として、なぜ自治会の参加が低いかというと、1つの理由として、自治会が何をやっているか分からない。変に入ったら仕事を押し付けられて怖い。そういう意識が入っていない人にあるのではないかという話が出ていました。だからこそ、各自治会が自治会の活動をSNSなどで楽しく発信することで、入ってもそんなしんどいわけではなく、

会議録（要点記録）

むしろ楽しいことのほうが多いということを伝える。さらにいろいろ出たんですが、フルタの匂いを流したり、お祭りなどをやってあそこ行ったらおいしいものありそうって言ったり、餌で釣って自治会に入ってもら、そういう手段もあるという話をしました。行政でいろいろ言っていただくというのも大いに大事ですが、楽しそうに自治会活動をやって、それを情報発信することも大事ではないかと思います。以上です。

それでは、今日は初めての試みで意見交換をいただきました。初めに申しましたように、こういう少人数でやると、人の意見と自分の意見の区別がつかなくなり、みんなの意見になっていく。言いつ放しじゃなくて、人の意見も聞くようになる、それが大事なことと思います。

今日は貴重な意見がたくさん出たと思います。案件1に関して、事務局としてどう生かしていくのか、今後の予定などについてお願いいたします。

○北口課長　　本日は貴重な意見をたくさんいただきました。いただいた御意見をもとに、美原区のビジョンに基づく施策の見直しや、政策課題の解決の端緒にさせていただきたいと考えています。また、次期計画の策定に向けた作業にも取り組んでまいります。

なお、来年度の会議の運営につきましては、美原区ビジョン2025の見直しや、それに伴う美原区のまちづくりに関するアンケートの内容についても御意見を伺う予定としています。その点につきましても御協力よろしくお願いいたします。

そして、区役所のできることにして、皆さんから御推薦のあったイベントなど、可能な限りSNS等での発信のお手伝いもできればと考えています。

また、この間農芸高校に行かせてもらいましたが、各構成員間の周知のお手伝いとして、引き続き取り組んでいきたいと思いますので、お知らせしたいイベント等、その旨を御連絡いただきましたら、事務局から御案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

○堀内座長　　ありがとうございました。来年度は、美原区ビジョン2025の見直しに関する案件につながっていくということです。皆さん、今後もよろしくお願いいたします。

次に案件2、その他についてですが、本日は特にないようですが、それでよろしいですか。

それでは、本日の案件はこれで全て終了しました。事務局に引き継ぎたいと思います。

○司会　　それでは、ここで区長から一言御挨拶をお願いします。

○山田区長　　美原区長の山田です。皆様、お疲れさまでした。

会議録（要点記録）

初めてグループワークということで、形を変えまして区政策会議をさせていただきました。皆様、いかがだったでしょうか。すごく活発に御意見が出ていて、話が弾んでいたように見受けられました。

私が皆さんの意見を聞きながらいいなと思ったことは、まず松本構成員のところでは、とにかくワクワクという言葉が非常に心に残りまして、小中高、大学生たちとまちの未来と一緒に考えるようなことをやっていったらどうだろうかというご提案はすごくいいですね。世界が広がるといいますか、未来を感じるそういうキーワードを次のビジョンをつくる時に使わせていただきたいなというふうに感じました。

そして、2番目の伯井構成員のところでは、とにかく楽しければ参加してもらえるのではないか、自治会などいろいろな団体さんのキーになる役員になる方が、負担感はあるとは思いますが、楽しそうにする、そういうことが発信できればどんどん参加してもらえるのではないかと、確かに本当にそうだなと思いました。一団体がその団体だけでやるのではなくて、コラボですよ。老人会と子ども会のコラボや、福祉と自治会のコラボ、あるいは企業さんを巻き込んでのコラボなど、そんなことができたならもっといいのではないかと、楽しく見せられるのではないかとというのが印象に残りました。

3番目のグループは、SNS、すごく耳の痛いお言葉をいただきまして、もうズキンと来ています。でも、ああいうのはセンスだと思っています。広報もそうですし、SNSも区長のツイッターをはじめインスタグラムもやっていますが、なかなか伸びも悪いというところもありますので、ぜひともヒントをいただきたい。私たち情報発信というか、美原の魅力を区内外に発信して、美原ってめっちゃええとこなんや、こんなええことやってるんやっていうのをいっぱいの人に知っていただきたい、この思いだけはすごくありますので、もしそういう指南をしていただける方がいらっしゃいましたら、ぜひ御教示いただければありがたいです。自治会の活動、いろいろやっているけど内容が分かりにくいから入りにくいのではないかとこのところでも確かにそうだと思います。新たなスタンプラリーというお話もありました。そういったメリットを皆さんに感じていただけるようなこと、仕組みというのは、私たちもいろいろと考えていきたいと思っています。

あと少し報告ですが、まず1回目の会議のときに安野構成員様から、せっかく美原区ビジョン2025があるのに皆さんあまり知らない。だから、区長が各地区の総会に出て行って、ビジョンの説明してはどうかという御意見をいただきました。それを参考にさせていただき、2月22日にほとんどの単位自治会長さんがお集まりになる日本赤十字社との合同研修会で私のほうから美原区ビジョン2025のことと区政策会議のことを講話させていただく運びになりました。こういったことを少しでも広く地域の皆様に知っていただきたいと思っています。

また、皆様に書いていただきましたアンケートの集計のなかに、高岡照美構成員様が図書

会議録（要点記録）

館でボランティアさんがいろいろ活動をしていただいている取組を紹介したいということを書いていただきましたので、広報では毎月載せているのですが、加えて区長のX（ツイッター）のほうで定期的に発信するようにしました。とにかくすぐにできることはやりたいなと思っています。また御覧いただければ幸いです。

それと、フルタの山本構成員様がらぼーとでクリスマスセールされるということで書いていただいたのを、それも区長Xのほうで発信させていただきました。

その他、古代米の活動、あと地域で防災活動なども頻繁にされていまして、つい最近、東大饗の地域で防災の活動をされた、これもちょうど今日区長Xで投稿させてもらいましたので、地道ではございますけれども、できる限りのことはさせていただきたいと思います。

そして、皆様が今回、それぞれの団体を越えて、しっかり顔と顔が見える関係が築けたのかなと思いますので、そういうつながりをしっかり大事にさせていただいて、その力をもって美原区の活性化につなげていけたらというふうに思います。

本日はどうもありがとうございました。

○司会　以上をもちまして、令和5年度第2回堺市美原区政策会議を閉会いたします。